



大
成
官

去月方六日... 福國縣下... 侵漬之憂... 士族年招集... 重之如最... 定中... 族... 官... 下... 之... 侵... 士... 重...

有
四
屏
書

福
國
縣
下
頑
民
暴
執
清
定

大
正
十
一
年
四
月
四
日
附
寄

414
A 597



民暴動之說實為實間高知十三世等
出江中川久忠福島新艦上を遊むに及
て之を鞠蹴するに因り物懼る者同く
時滞在在波島に候日新島新艦上を
滞在するに及り名及遊言を尋ねるに
下日田地も一應安堵の物合に及り森
士族率ハ先引揚出候天程三階新下
名穩に風吹き多し日回地ハ日候隣接

他人氏危懼り抱き民心初安堵あり
多し以月圓吉族年ハ暫時停候に付
常市及先入り日進高君等ハ其ハ先
義年々ハ以保大早より其ハ初にハ
取備おお取り以月友負取出候に法
格よりハ及候に以候に他ハ其ハ

此後五年
大分縣七等出江中川久忠福島
大分縣七等出江中川久忠福島

古詩有年豐年歲

冬後大雪年益

不
非
分